

角田市総合教育会議 会議要旨

| | |
|--|--------------------------|
| 会 議 名 | 令和元年度第2回角田市総合教育会議 |
| 開 催 場 所 | 角田市役所402会議室 |
| 開 催 日 時 | 令和元年9月19日（木） 15：10～16：20 |
| 出席者名簿 | 15名（別紙のとおり） |
| 事 務 局 | 総務部企画財政課 |
| <p>（次 第）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 開会あいさつ（市長） 3. 協 議 <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な地域づくり実現に向けた自治センターのあり方について 4. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・角田市学校の適正規模等に関する基本構想【中間案】の説明会の開催について 5. 閉会あいさつ（教育長） 6. 閉 会 | |
| <p>（会議要旨）</p> <p>3 協 議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な地域づくり実現に向けた自治センターのあり方について 資料に基づき説明を行った。（説明要旨省略） <p>協議要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治センターの所管が教育委員会から市長部局に動くことで、大きく変わることは何か。 ⇒ 現状の自治センターは、社会教育法上の公民館施設である。実施している事業は、青少年教育・成人教育・婦人教育等の人材育成に関する事業と地区振興協議会事業等の地域づくり・コミュニティづくりに関する事業に大別される。 各地域の自治センターで実施している各種講座・研修等は人が集まらない状況で苦慮している中、角田自治センターで開催する事業には各地域から人が集まっている状況である。これらを踏まえて、人材育成に関する事業については、生涯学習課に集約して事業を実施することとして、自治センターでは、地域づくり・コミュニティづくりに関する事業を中心に行うことで整理している。 自治センターでは、ある程度地域づくりに集中できることになるため、様々な事業を展開可能な体制づくりが重要となる。現状の公民館という位置付けでは、社会教育法上の制約により、利用に限界が生じ、収益的な事業や他用途での利用も制限されるため、市長部局に移管することで、それらの制限が無い状態での活動を可能とし、今後の自治センターの多様化のためにも必要なことだと考えている。 | |

- ・自治センターに対してどのような説明を行ってきたか。
⇒ 生涯学習課において、2か月に1回の頻度で自治センター長会議を実施している。その中で、自治センターの現状を再確認することとなり、平成30年5月・7月に各自治センターを訪問し、各自治センター長や職員の皆さんと意見交換を行った。そこでの意見は、自治センターは公民館や何かを学ぶための施設というよりも、地域におけるコミュニティをつくる場であるという認識が強い印象だった。
平成31年1月から、尚絅学院大学の先生をお呼びして、自治センターとその事業の在り方について、2か月に1回程度、自治センター長と職員の研修会を開催している。研修会の2回目以降は、不満の声よりも自治センターを良くしたい等の前向きな意見が出ている状況である。
- ・自治センターに対する指揮系統が、これまでは生涯学習課とまちづくり交流課に二分していたとのことだが、市長部局に移管されることで一本化されるということか。
⇒ 市長部局に移管されることで、指揮系統は一本化されることとなります。
- ・平成25年当時も教育委員会としては、市長部局への移管について賛成しており、今回も説明を受け、方向性としては間違いなことだと改めて認識したが、戦後の民主主義の普及の側面からの公民館の役割に対して、歴史的背景に思い入れのある方もいらっしゃると思われるため、誰が聞いても分かりやすく、丁寧に説明することが重要である。

4 その他

- ・角田市学校の適正規模等に関する基本構想【中間案】の説明会の開催について資料に基づき説明を行った。(説明要旨省略)

出席者名簿

○会議構成員（6名）

市長 大友 喜助

〔教育委員会〕

教育長 佐山 富夫
教育委員 毒島 弘美
教育長職務代行者 星 文和
教育委員 安藤 正夫
教育委員 太田 京子

○説明者その他（3名）

まちづくり交流課長 高橋 正明
教育次長兼教育総務課長 森山 旭
生涯学習課長 高橋 喜隆

○事務局関係（6名）

総務部次長兼企画財政課長 玉渕 和紀
総務部まちづくり交流課課長補佐 堀米 直江
教育総務課課長補佐 森 敦
生涯学習課課長補佐 宍戸 早苗
総務部企画財政課行革情報係長 大野 悟
総務部企画財政課企画調整係長 齋藤 謙

(敬称略・順不同)